

地域再生計画（文化芸術振興による交流促進）の指標達成状況

令和 2 年 8 月

KPI	歴史・文化施設の 年間利用者数	中心市街地の歩行者・ 自転車通行量	基準年月
当初	① 161,601人	② 72,970人/日	①平成28年3月 ②平成30年3月
令和元年度 実績	139,320人	80,315人/日	令和2年3月
令和2年度 実績			
令和3年度 実績			
令和4年度 実績			
令和4年度 目標値	197,000人	77,300人/日	令和5年3月

※今後、文化振興審議会に諮った上で、上記の表を毎年度ホームページで公表する。

中心市街地活性化基本計画における評価を踏まえた本計画での各指標の評価は以下のとおり。

歴史・文化施設の年間利用者数

令和元年度の実績は139,320人／年という結果になった。大阪北部地震の影響により大きく利用者数を減らした昨年度からは数字を戻したものの、しろあと歴史館の外壁改修工事のほか、新型コロナウイルス感染症対策で施設を一時閉館した影響により目標値を下回った。今後は、新型コロナウイルス終息後を見据え、相互の集客向上に向けた取組を展開していく予定であり、高槻城跡公園 芸術文化劇場の開館も控えていることから、目標の達成は可能と見込まれ、引き続き努力していく。

歩行者・自転車通行量

令和元年度の調査では、基準値を上回る80,315人／日（平日・休日の平均）という結果になった。これは、中心市街地活性化協議会を始めとした関係者による活性化気運の醸成が図られたことなどによるものと考えられる。平成31年3月には「安満遺跡公園」が1次開園し、想定を上回る集客効果を発揮しているなど、中心市街地における新たな都市機能の集積に向けた取組が順調に進んでいる。高槻城跡公園 芸術文化劇場の開館も目標値に寄与することから、目標達成は可能と見込まれる。